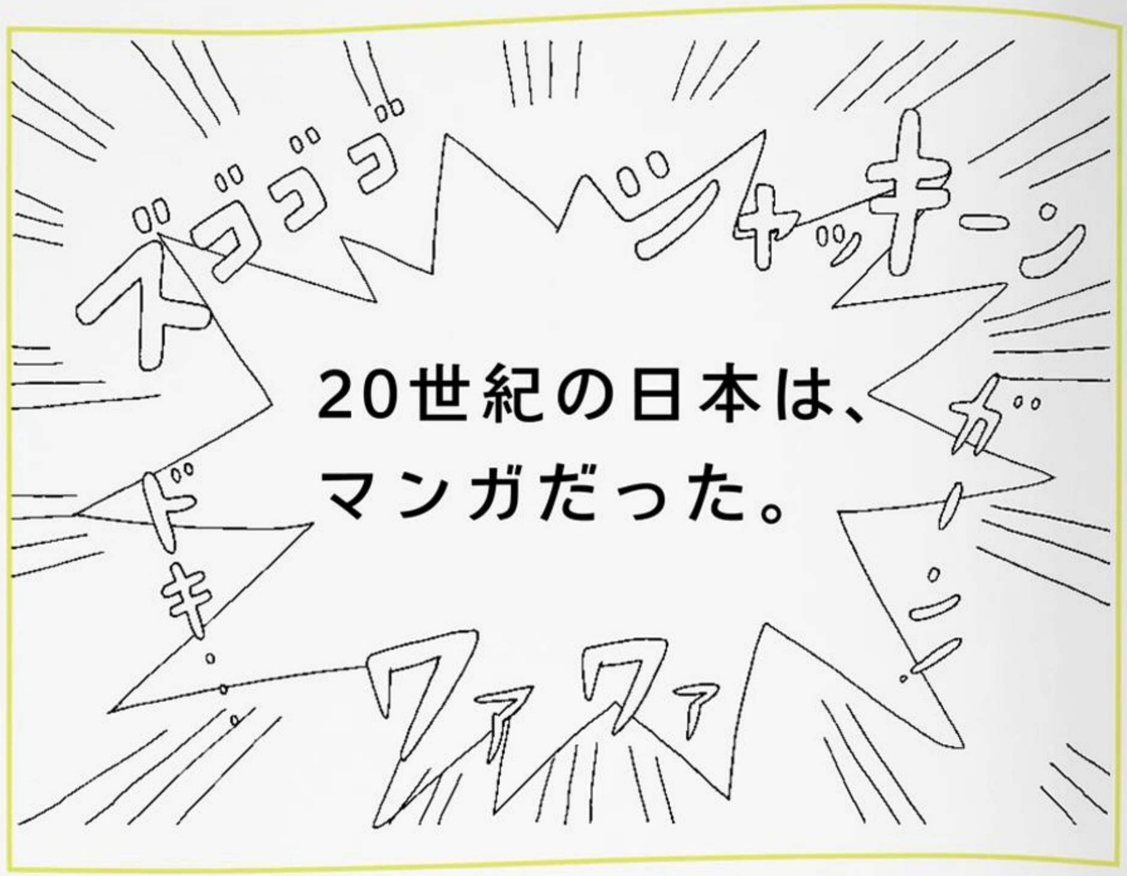

20世紀の日本は、
マンガだった。

僕らが愛するマンガには、
日本の伝統表現が息づいている。

20世紀の日本で、もっとも発達した表現は何だと思いますか。それは絵画でも、彫刻でもなく、マンガです。線の妙と文字で描かれ、豊かな物語が語られてゆく。浮世絵や水墨画、絵巻物からの流れを受け継いだ、日本らしい表現形式なのです。このようにマンガをアートの視点でとらえるのが「日本まんが史」のテーマです。ひとつのマンガを題材に、タッチや背景描写、アングル、台詞、コマとコマとの関係などを丹念に調べてゆくと、ふだんマンガを読んでいるときとはちがう新たな発見があったりします。固定観念に囚われず、自由な視点からモノを見る。マンガを通じてその姿勢を身につけて欲しいですね。

（芸術学科教授　三上豊）

和光
3分
大学

小田急線鶴川駅から徒歩約15分
http://www.wako.ac.jp/

ひとりを光らせる
和光大学
現代人間学部　表現学部　経済経営学部